

植物多様性センターの「ヤブマメのふたつの実生」

ヤブマメは秋に紫色の花を咲かせるマメ科のつる性1年草です。地上部につける種子とは別に、地中におはじきのような閉鎖花の種子をつけることでも知られています。閉鎖花の種子は大きいものは直径1cmを超えます。地上部の花から実った種子は半分以下の大きさです。ふたつの実生にはどんな違いがあるのかずっと気になっていました。学習園の実生の中に、ふたつの種子からと思われる実生を見つけましたのでご紹介します。



奥多摩ゾーン落葉広葉樹林エリアに発芽した実生、円内は花



閉鎖花の大型の実生と開放花の小型の実生が混生する



種子の大きさの比較: 同じ植物の種子とは思えないほどの差



子葉は種子の中、単葉、三出葉とも本葉の大きさがまるで違う